
4 章 調査結果

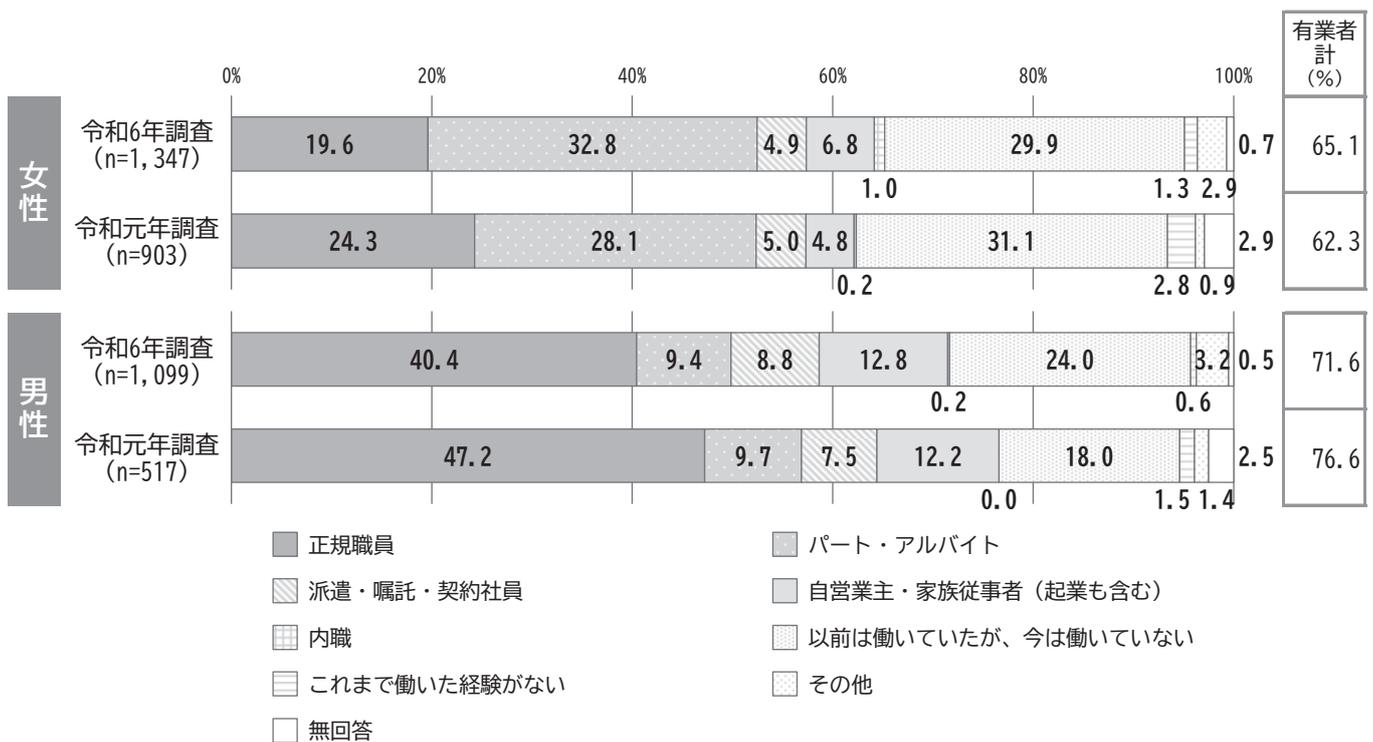
1. 就業状況について

(1) 就業状況

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。
 配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。(それぞれ〇はひとつずつ)
 ① 現在のあなたの就業状況

■あなた自身

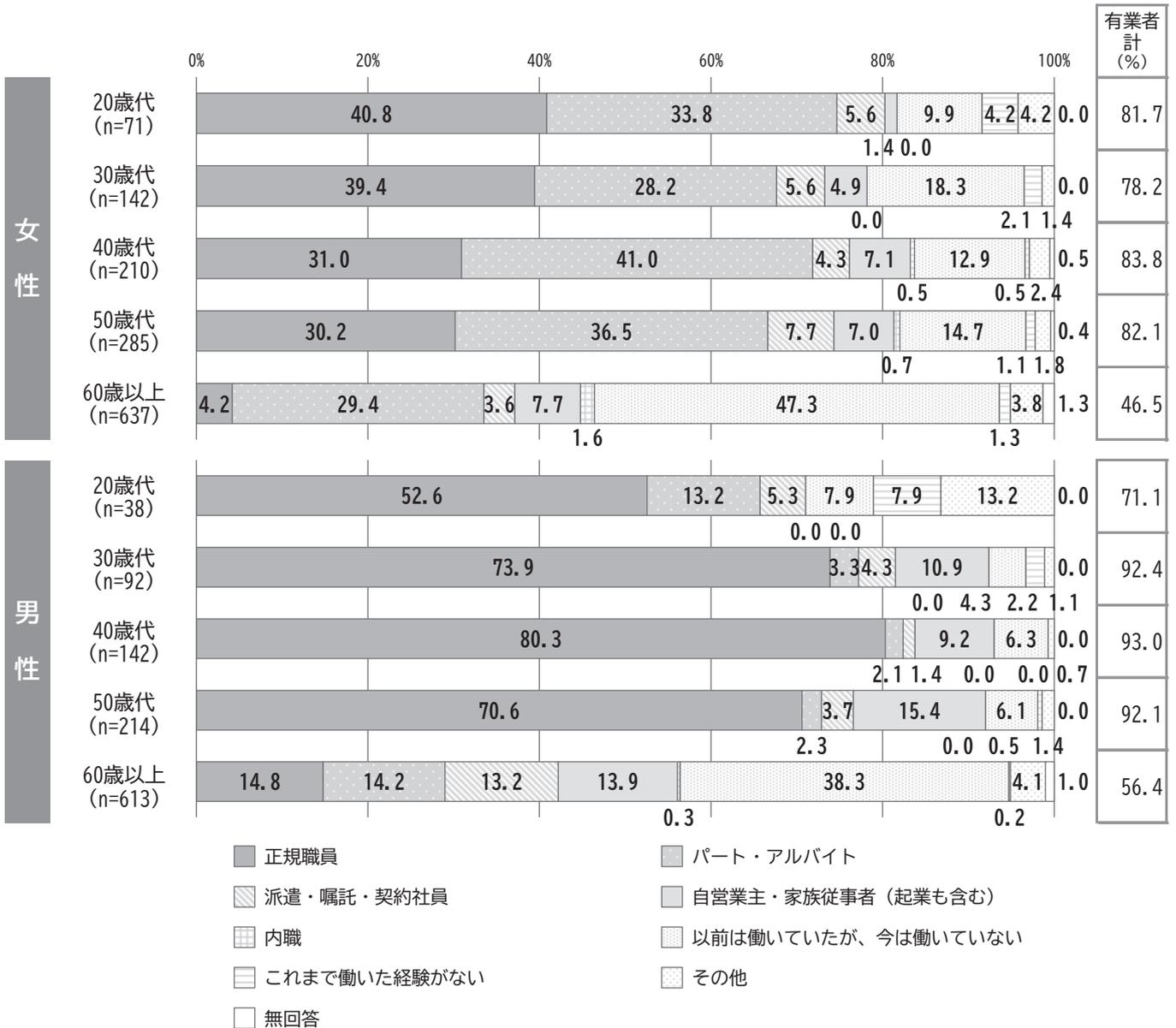
- 女性は、「パート・アルバイト」の割合が32.8%で最も高く、「以前は働いていたが、今は働いていない」(29.9%)、「正規職員」(19.6%)が続いている。有業者の割合は65.1%である。令和元年調査と比較すると有業者の割合は低下していないものの、わずかながら「正規職員」の割合が低下し、「パート・アルバイト」の割合が上昇している。
- 男性は、「正規職員」の割合が40.4%で最も高く、「以前は働いていたが、今は働いていない」(24.0%)、「自営業主・家族従事者(起業も含む)」(12.8%)が続いている。有業者の割合は71.6%である。令和元年調査と比較すると、「正規職員」の割合が低下し、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が上昇している。
- 性別に比較すると、女性は「正規職員」の割合が男性に比べて20ポイント以上低く、「パート・アルバイト」の割合が20ポイント以上高くなっている。



※有業者計：「正規職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「自営業主・家族従事者」「内職」をあわせた割合

《年代》

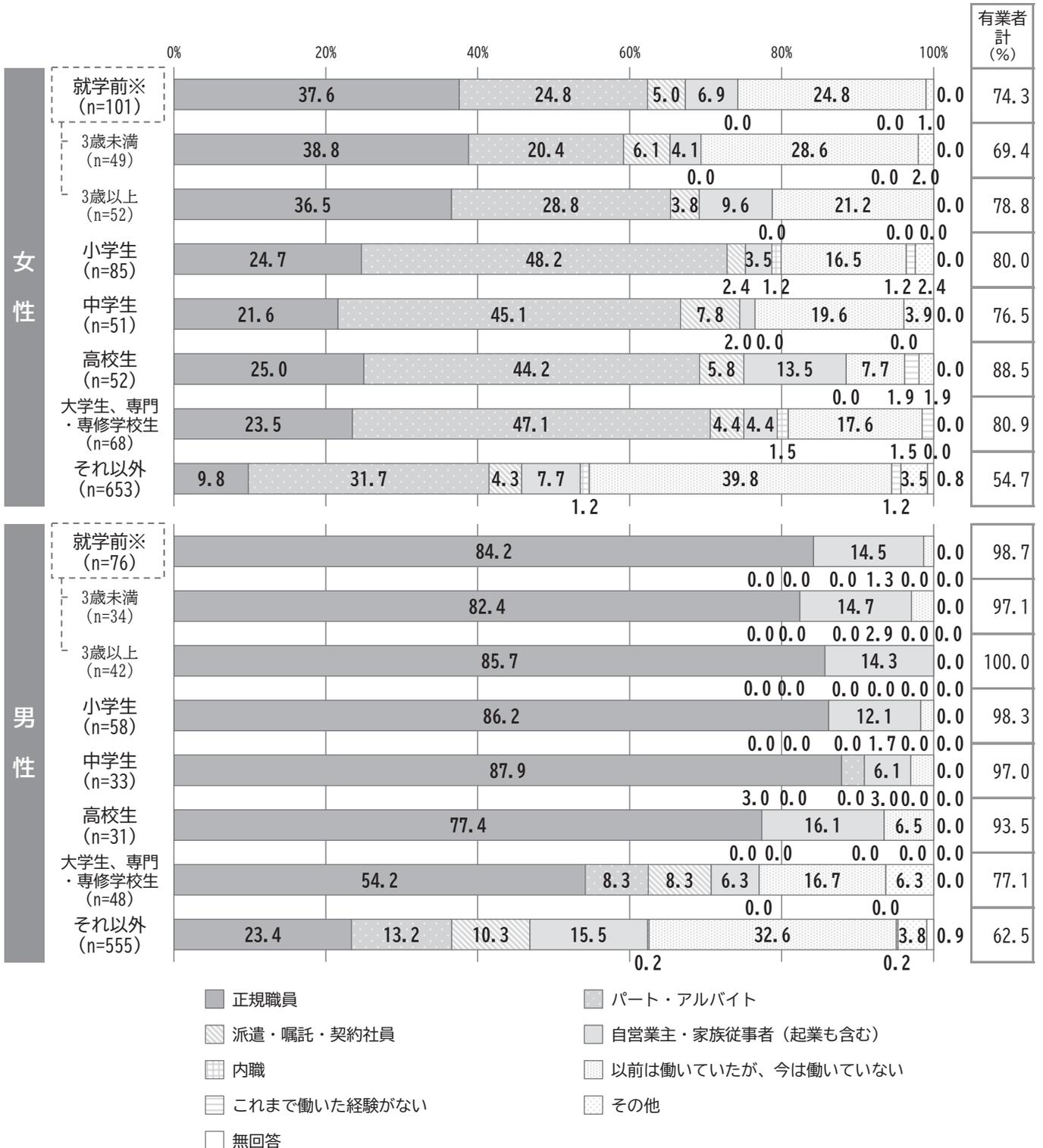
- 年代別にみると、女性では、有業者の割合は30歳代で78.2%とやや低下するものの50歳代まで8割台である。そのうち、「正規職員」の割合は20歳代から30歳代にかけて大きな変化はみられないが、30歳代から40歳代にかけて5ポイント以上低くなっている。「パート・アルバイト」の割合は20歳代から30歳代にかけて5ポイント以上低くなるが、30歳代から40歳代にかけて10ポイント以上高くなっている。
- 男性では、「正規職員」の割合は女性とは対照的に30歳代から40歳代にかけて5ポイント以上上昇している。
- 性別に比較すると、女性の有業者の割合は20歳代では男性に比べて高いものの、30歳代以降は男性が上回っており、その差は30歳代（14.2ポイント）で最も大きくなっている。女性の「正規職員」の割合はすべての年代で男性より低く、その差は30歳代（34.5ポイント）、40歳代（49.3ポイント）、50歳代（40.4ポイント）で大きくなっている。



※有業者計：「正規職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「自営業主・家族従事者」「内職」をあわせた割合

《末子年齢》

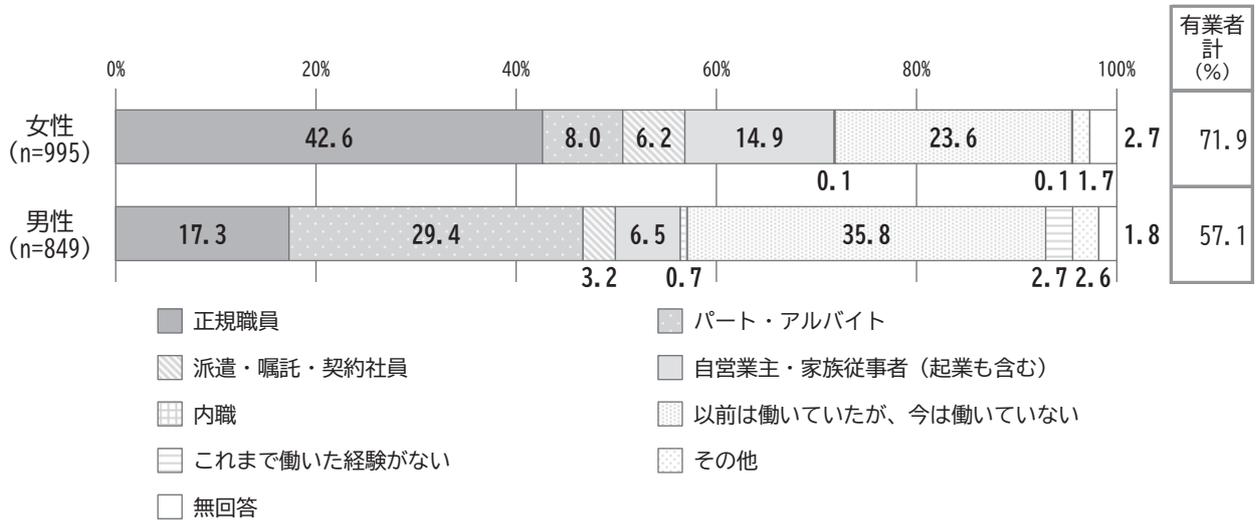
- 末子年齢別にみると、女性では、有業者の割合は3歳未満（69.4%）でやや低めである。「正規職員」の割合は子どもの就学前までは大きな変化はみられないが、小学生で「正規職員」の割合が就学前に比べて10ポイント以上低くなっており、「パート・アルバイト」の割合が20ポイント以上高くなっている。
- 男性では、3歳未満から高校生にかけて9割以上が有業者である。「正規職員」の割合も中学生まで大きな変化はみられない。



※有業者計：「正規職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「自営業主・家族従事者」「内職」をあわせた割合
 ※就学前：「3歳未満」「3歳以上」をあわせた回答者

■配偶者

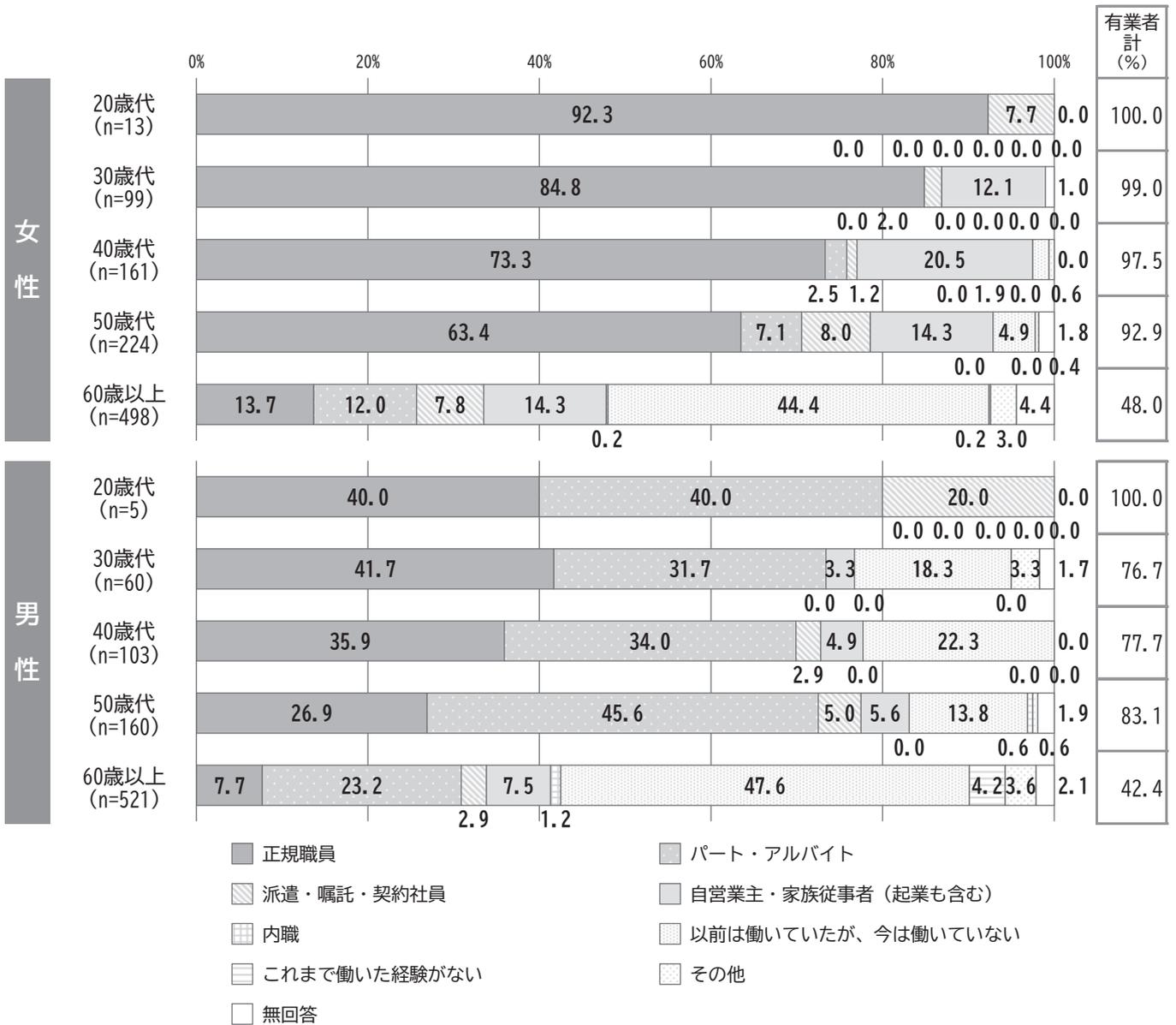
- 女性の配偶者（夫）は71.9%が有業者である。有業者のうち、「正規職員」の割合が42.6%で最も高く、「自営業主・家族従事者（起業も含む）」（14.9%）が続いている。また、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が23.6%である。
- 男性の配偶者（妻）は57.1%が有業者である。有業者のうち、「パート・アルバイト」の割合が29.4%で最も高く、「正規職員」（17.3%）が続いている。また、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が35.8%である。



※有業者計：「正規職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「自営業主・家族従事者」「内職」をあわせた割合

《年代》

- 年代別にみると、女性の配偶者（夫）は20歳代については回答者数が少ないため参考ではあるが、50歳代まで9割以上が有業者である。20歳代から30歳代は8割以上が「正規職員」で、年代が高くなるほど「正規職員」の割合は低くなるものの、50歳代まで「正規職員」が多数を占める。
- 男性の配偶者（妻）は30歳代や40歳代で7割、50歳代で8割が有業者だが、そのうち3割から4割を「パート・アルバイト」が占める。



※有業者計：「正規職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約社員」「自営業主・家族従事者」「内職」をあわせた割合

(2) 業種

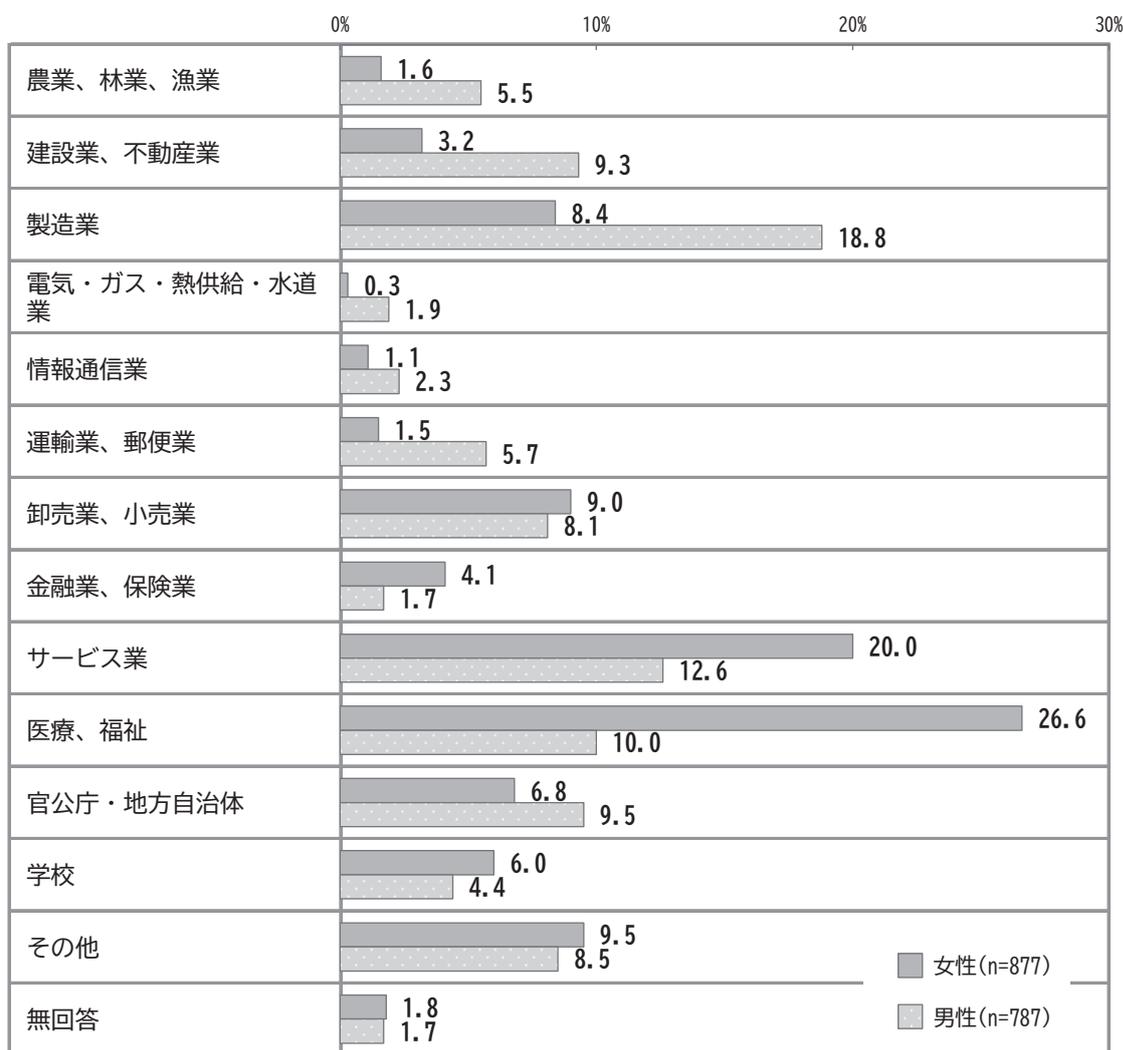
問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。(それぞれ○はひとつずつ)

② あなたの業種

■あなた自身

- 女性では、「医療、福祉」の割合が26.6%で最も高く、「サービス業」(20.0%)、「その他」(9.5%)が続いている。
- 男性では、「製造業」の割合が18.8%で最も高く、「サービス業」(12.6%)、「医療、福祉」(10.0%)が続いている。
- 性別に比較すると、女性は「医療、福祉」「サービス業」の割合が男性に比べて5ポイント以上高く、男性は「製造業」「建設業、不動産業」の割合が女性に比べて5ポイント以上高くなっている。



(3) 個人年収

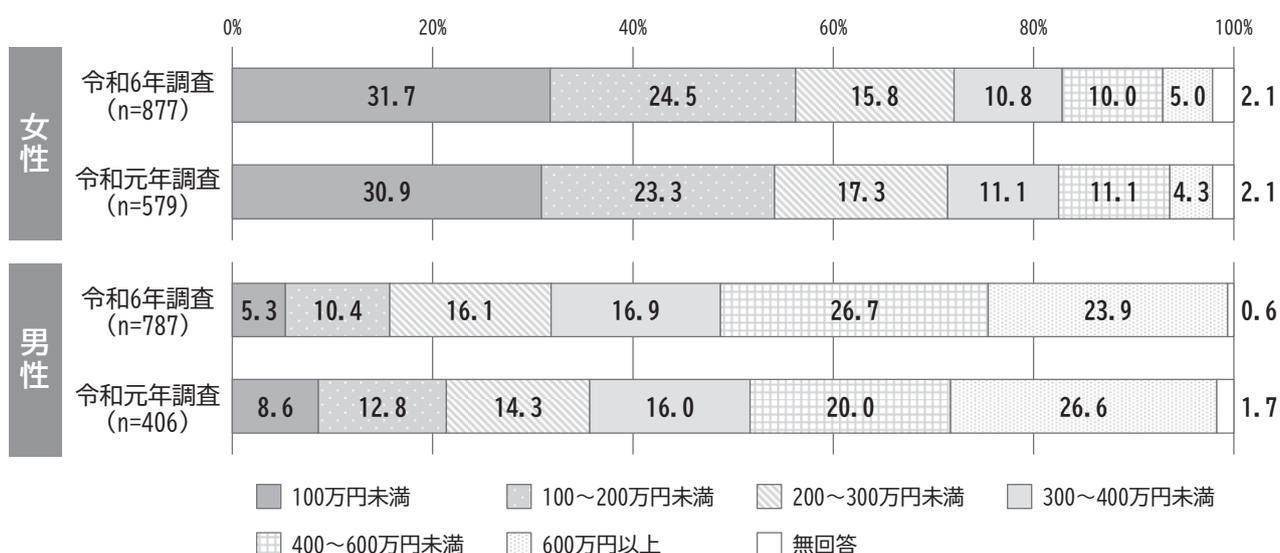
問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。(それぞれ○はひとつずつ)

③ あなたの年間の収入

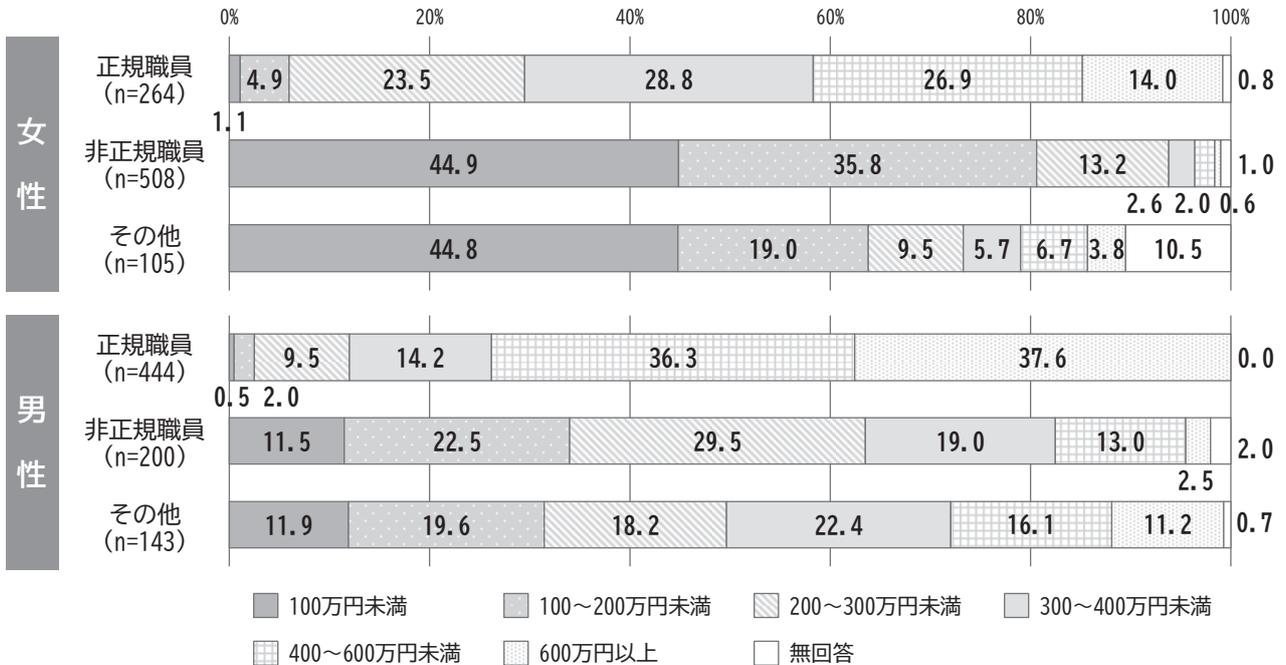
■あなた自身

- 女性では、「100万円未満」の割合が31.7%で最も高く、「100～200万円未満」(24.5%)、「200～300万円未満」(15.8%)が続いている。令和元年調査と比較して大きな差はみられない。
- 男性では、「400～600万円未満」の割合が26.7%で最も高く、「600万円以上」(23.9%)、「300～400万円未満」(16.9%)が続いている。令和元年調査と比較すると「400～600万円未満」の割合が5ポイント以上上昇している。
- 性別に比較すると、女性は「400～600万円未満」「600万円以上」の割合が男性に比べて10ポイント以上低い。



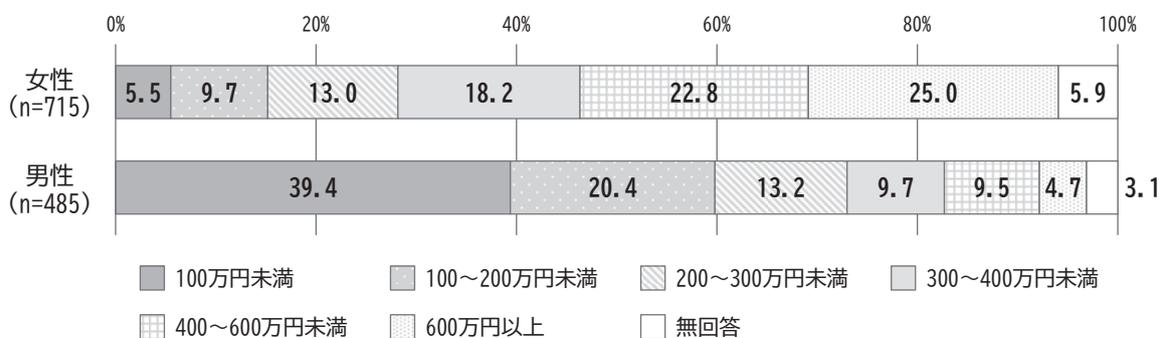
《就労状況》

- 就労状況別にみると、女性では、正規職員で「300～400万円未満」の割合が28.8%で最も高く、「400～600万円未満」(26.9%)、「200～300万円未満」(23.5%)が続いている。非正規職員で「100万円未満」の割合が44.9%で最も高く、「100～200万円未満」(35.8%)、「200～300万円未満」(13.2%)が続いている。
- 男性では、正規職員で「600万円以上」の割合が37.6%で最も高く、「400～600万円未満」(36.3%)が僅差で続いている。非正規職員で「200～300万円未満」の割合が29.5%で最も高く、「100～200万円未満」(22.5%)、「300～400万円未満」(19.0%)が続いている。
- 性別に同職種で比較すると、いずれも女性より男性の年収が高くなっている。



■配偶者

- 女性の配偶者(夫)は、「600万円以上」の割合が25.0%で最も高く、「400～600万円未満」(22.8%)、「300～400万円未満」(18.2%)が続いている。
- 男性の配偶者(妻)は、「100万円未満」の割合が39.4%で最も高く、「100～200万円未満」(20.4%)、「200～300万円未満」(13.2%)が続いている。
- 性別に比較すると、女性の配偶者(夫)の年収は男性の配偶者(妻)に比べて高く、生計の中心が夫であることがうかがえる。



(4) 通勤時間（片道）

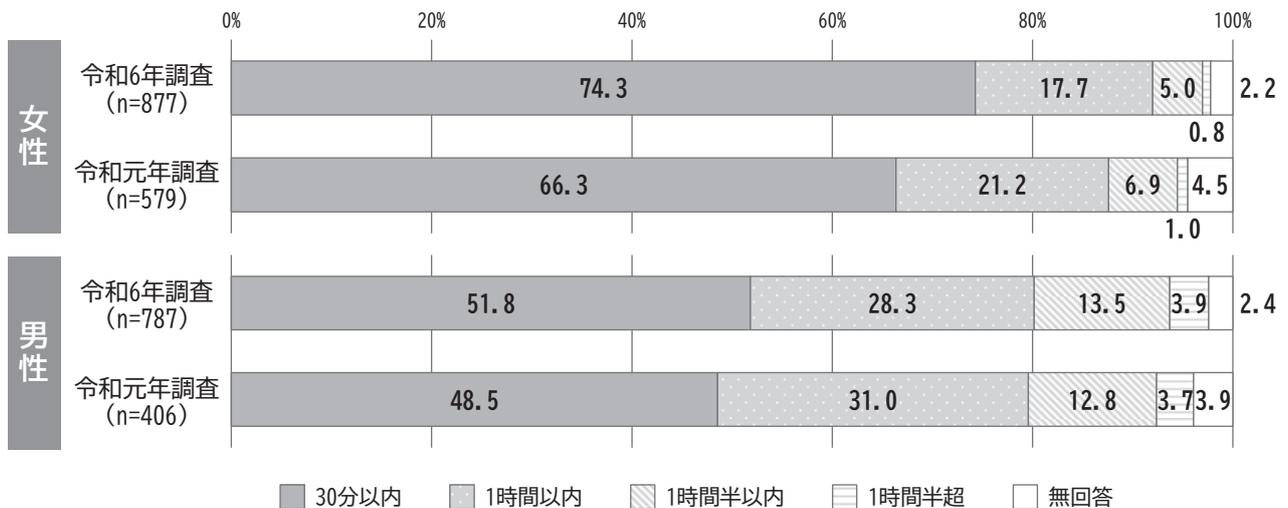
問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。（それぞれ〇はひとつずつ）

④ 通勤時間（片道）

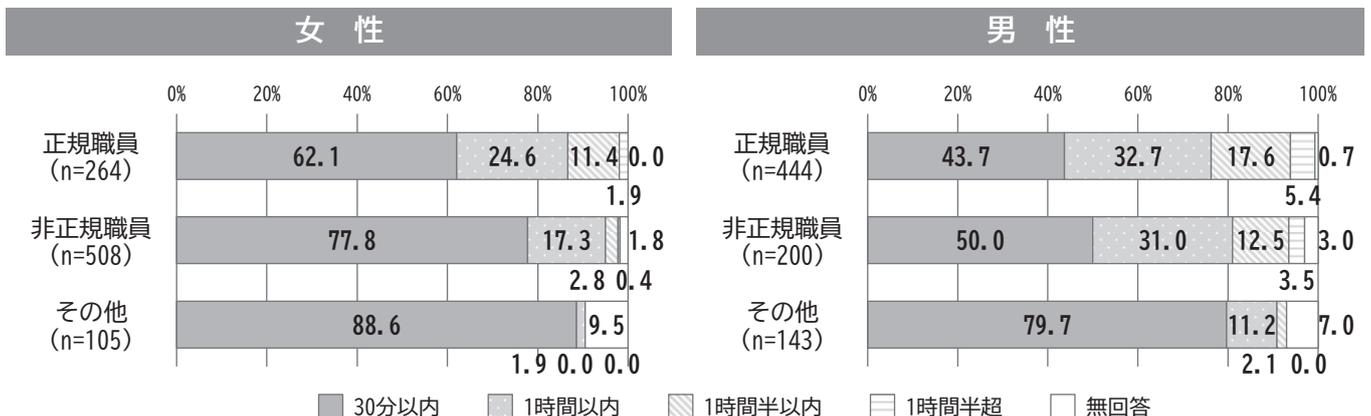
■あなた自身

- 女性では、「30分以内」の割合が74.3%で最も高く、「1時間以内」（17.7%）、「1時間半以内」（5.0%）が続いている。令和元年調査と比較すると、「30分以内」の割合が上昇している。
- 男性では、「30分以内」の割合が51.8%で最も高く、「1時間以内」（28.3%）、「1時間半以内」（13.5%）が続いている。令和元年調査と比較して大きな差はみられない。
- 性別に比較すると、女性は「30分以内」の割合が男性に比べて高く、女性の通勤時間が男性に比べて短い状況がうかがえる。



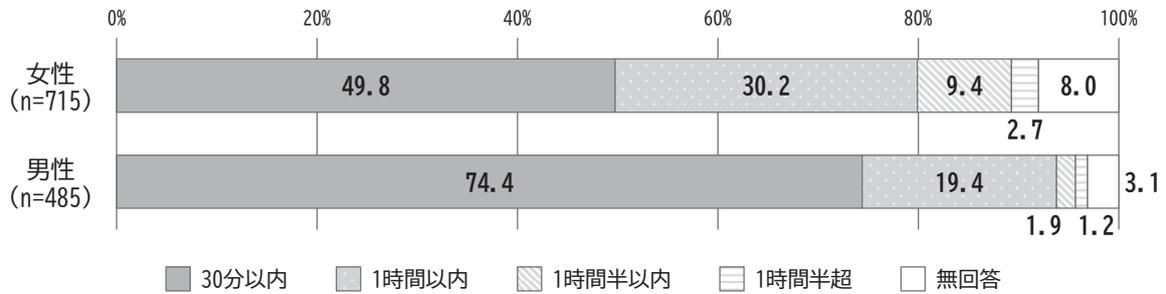
《就労状況》

- 就労状況別にみると、女性では「30分以内」の割合が正規職員で62.1%、非正規職員で77.8%と多数を占めている。非正規職員は「30分以内」の割合が正規職員に比べて10ポイント以上高い。
- 男性では、正規職員、非正規職員ともに「30分以内」の割合が4～5割台、「1時間以内」が3割台、「1時間半以内」が1割台である。
- 性別に比較すると、女性の「30分以内」の割合はいずれの層も男性より高く、職種に関わらず女性の通勤時間は男性に比べて短い状況がうかがえる。また、男性は正規職員と非正規職員の通勤時間に大きな差がみられないのに対して、女性の非正規職員は正規職員に比べて通勤時間が比較的短い。



■配偶者

- 女性の配偶者（夫）は、「30分以内」の割合が49.8%で最も高く、「1時間以内」（30.2%）、「1時間半以内」（9.4%）が続いている。
- 男性の配偶者（妻）は、「30分以内」の割合が74.4%で最も高く、「1時間以内」（19.4%）、「1時間半以内」（1.9%）が続いている。
- 性別に比較すると、男性の配偶者（妻）の「30分以内」の割合が女性の配偶者（夫）に比べて20ポイント以上高く、妻は夫より自宅近辺で就労している状況がうかがえる。



(5) 勤務地

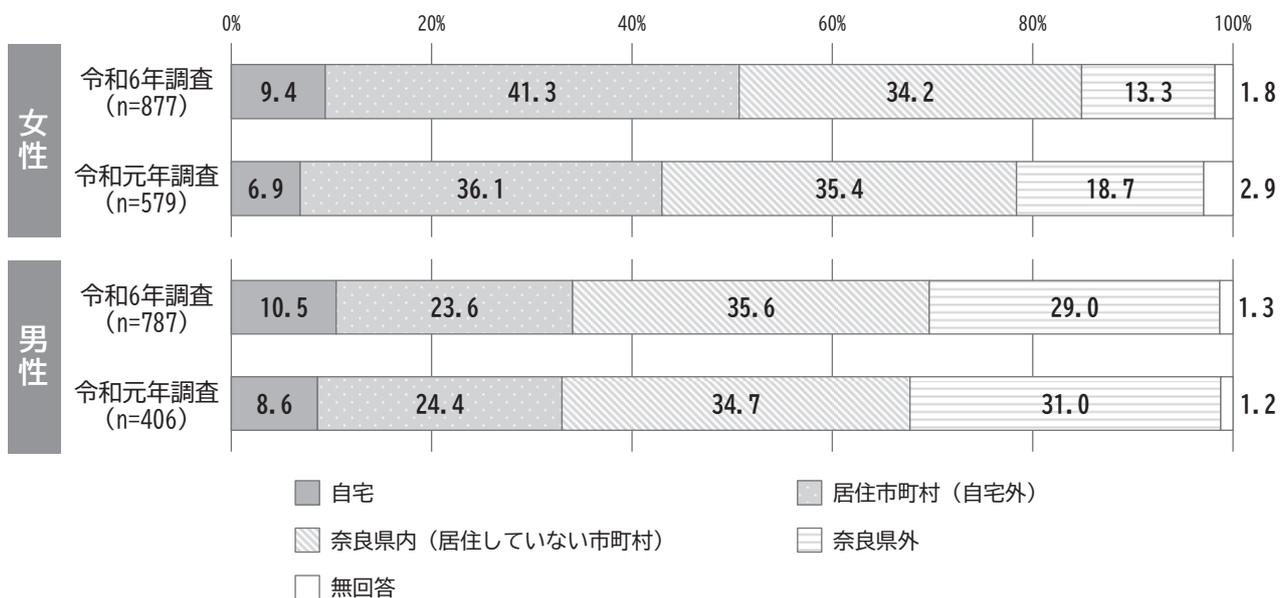
問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲でああなたの配偶者・パートナーについてもお聞かせください。(それぞれ○はひとつずつ)

⑤ 勤務地

■あなた自身

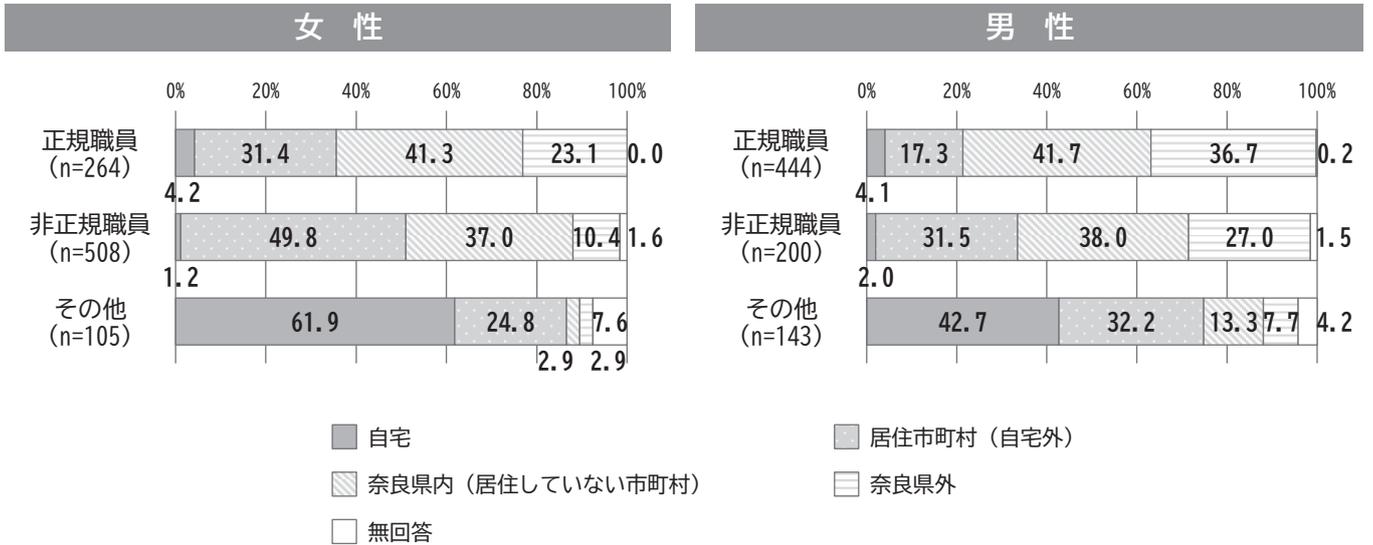
- 女性では、「居住市町村（自宅外）」の割合が41.3%で最も高く、「奈良県内（居住していない市町村）」（34.2%）、「奈良県外」（13.3%）が続いている。令和元年調査と比較すると、「居住市町村（自宅外）」の割合が5ポイント以上上昇している。
- 男性では、「奈良県内（居住していない市町村）」の割合が35.6%で最も高く、「奈良県外」（29.0%）、「居住市町村（自宅外）」（23.6%）が続いている。令和元年調査と比較して大きな差はみられない。
- 性別に比較すると、女性は「居住市町村（自宅外）」の割合が男性に比べて10ポイント以上高く、「奈良県外」の割合が10ポイント以上低い。



※在宅ワーク等は「自宅」、会社等は「居住市町村（自宅外）」「奈良県外（居住していない市町村）」「奈良県外」が該当する
複数の勤務地が存在する場合は、割合の多い方を回答することとした

《就労状況》

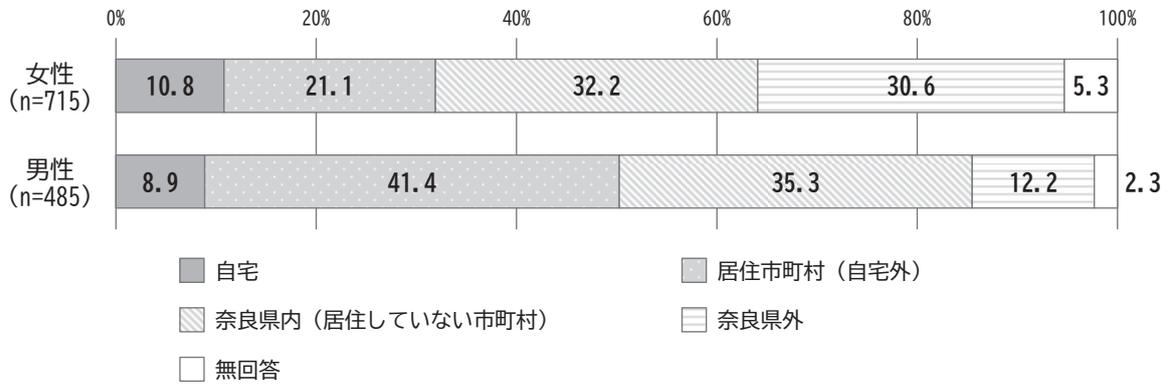
- 就労状況別にみると、女性では正規職員で「奈良県内（居住していない市町村）」（41.3%）、非正規職員で「居住市町村（自宅外）」（49.8%）の割合が最も高い。非正規職員は「居住市町村（自宅外）」の割合が正規職員に比べて10ポイント以上高い。
- 男性では、職種に関わらず、「奈良県内（居住していない市町村）」の割合が最も高い。正規職員は「奈良県外」、非正規職員は「居住市町村（自宅外）」が続いている。非正規職員は「居住市町村（自宅外）」の割合が正規職員に比べて10ポイント以上高い。
- 性別に比較すると、女性では、正規職員、非正規職員ともに「奈良県外」の割合が同職種の男性に比べて低く、「居住市町村（自宅外）」の割合が高めである。



※在宅ワーク等は「自宅」、会社等は「居住市町村（自宅外）」「奈良県外（居住していない市町村）」「奈良県外」が該当する
複数の勤務地が存在する場合は、割合の多い方を回答することとした

■配偶者

- 女性の配偶者（夫）は、「奈良県内（居住していない市町村）」の割合が 32.2%で最も高く、「奈良県外」（30.6%）、「居住市町村（自宅外）」（21.1%）が続いている。
- 男性の配偶者（妻）は、「居住市町村（自宅外）」の割合が41.4%で最も高く、「奈良県内（居住していない市町村）」（35.3%）、「奈良県外」（12.2%）が続いている。
- 性別に比較すると、男性の配偶者（妻）は「居住市町村（自宅外）」の割合が女性の配偶者（夫）に比べて高く、より自宅近辺で就労している状況がうかがえる。



※在宅ワーク等は「自宅」、会社等は「居住市町村（自宅外）」「奈良県外（居住していない市町村）」「奈良県外」が該当する
 複数の勤務地が存在する場合は、割合の多い方を回答することとした